

分社経営研究所 設立

創刊号

分社

代取会会報

《発行責任者》
 株式会社分社経営研究所
 代表取締役社長：酒井 邦恭
 代表取締役副社長：関山 博
 《編集責任者》
 分社グループ代取会
 〒104-0061
 東京都中央区銀座6丁目12番1号
 TEL 03-3574-9542
 会長：佐々木弘人
 副会長：竹田 誠



「分社経営の歴史」
 株式会社分社経営研究所
 代表取締役社長 酒井 邦恭

「どこでもこれを行うことが出来ない」なら私がやってみせよう」と色々考えて時々変えながらやってきたのである。分社経営のやり方は、人のやる気を第一に考えるやり方で、その方式はその時々々の状況に合わせて作って出す。中山先生は「取れたら分けるではなく、まず分ける。そして、その分け前以上を取れるように指導者が推進して、命を賭けているのだ。皆頼む！という姿勢で人を動かす」とおっしゃった。仕事は縦割り、受注から納入集金まで一貫方式を心掛け、次の仕事を流すのにこの方式で良いかを考えるのである。いつも丁度ピッタリの方式になつていのかを考へるのである。この時に始まった方式が今年で四十五年続いている。平穏な日もあれば大暴風雨の日もあった。世の中は段々世知辛くなつてあつちもこつちも分社、分社と言つようになり、私が講演をして廻るといふ経営者の仕事以外をやるようになってしまった。しかし国内だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ各国、中国など右も左も分社に関心を持つ時代になつた。「変なことをしているにやがる」と言つた人は黙つてしまい、もう古典に類すると思つているのに、上昇気流に乗つている所は、分社をやっている所で集まりませんかなんて言つてくる。

分社経営は昭和三十三年（一九五八年）中山隆祐先生の御指導によつて始まつた。先生の骨子は「能率給に刺激（インセンティブ）を加えることが原点である。それが出来るのは、上の者がそれをやるが忙しくなるか、または、自分がよく仕事がわかつていないからである。あげくの果ては、自分が責任を取らなくてはならない制度だから、どこでもこれを行うことが出来ない」ということである。

外国語に翻訳した分社は英語（二種）、中国語（二種）、フランス語、ドイツ語、スウェーデン語、スペイン語、韓国語、イタリア語、ロシア語、アラビア語（翻訳中）等があつて、とうとう世界中に広まつてしまった。私はBUNSHAという名が世界に通用するブランドになると思つている。分社経営で株式公開市場が始まると思つている。分社経営で株式公開市場も出てくるかも知れない。私は三社、四社が上場して初めて上場も軌道に乗つたと考えている。一社なんていうのはダメである。そこに至る道は、いくらかもあるし可能である。この分社経営の考え方は時間が経つ程恐ろしい力を発揮してくる。後三十年後位からその始まりとなるのではないかと思つている。後三十一年位まではまだ沢山の経験が出来る。新しいやり方というのは世界で初めてということ、出来れば世界中が注目し、あのようになりたい、したいと思われれる時代が来ることを願つている。私はこの研究所が既に十年間を積み上げてきた酒井塾と一緒にして経営大学を設立したらとも考えている。皆で作ら上げる自由な経営思想が私達の行く後を真似ながら世界中の人が面白く生きていけるようになったらと思つた。

平成十五年十月三十日（木）、株式会社分社経営研究所を設立しました。創立総会を十月二十九日に開催し、三十日に設立、十一月七日に設立登記を完了しました。左記の通り、取締役及び監査役が就任しましたので、お知らせします。

株式会社分社経営研究所

資本金 二千万円
 所在地 東京都中央区銀座六丁目十二番一号

代表取締役社長	酒井 邦恭	(株式会社大昌電子)
代表取締役副社長	関山 博	(インテグラン株式会社)
取締役	佐々木 弘	(富士精密株式会社)
取締役	竹田 澄	(株式会社大忠電子)
監査	菅 村	
監査	木 村	

株式会社分社経営研究所は、次の事業を営むことを目的とします。

- 一、分社経営システムの研究及び講演、執筆
- 二、分社経営に関する経営コンサルタント
- 三、国内、海外企業への市場調査、情報提供
- 四、書籍出版、販売
- 五、関連会社を設立し或いは出資すること
- 六、前各号に付帯する一切の事業

「株式会社分社経営研究所」運営方針

この研究所は分社グループに勤務する方は、誰でも利用出来ます。この研究所はあなたの会社の将来像を語り合う場所です。そのために現在の状況を直視する場所でもあります。この研究所はあなたの会社が今年何をするか、三年後何をするかを語る場所です。

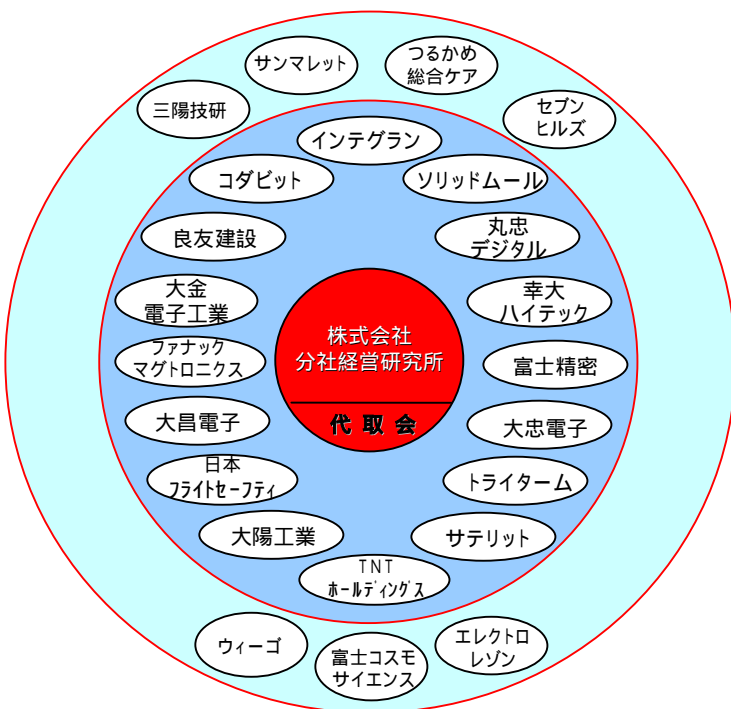
この研究所は駄目な経営陣を刷新し、駄目な会社を退場させるために皆で検討しあう場所です。この研究所にはあなたの会社の方針を張り出します。他のどの会社の方針も見ることが出来ます。

この研究所は、各社の毎月の番付を発表します。内容は、一人当たり利益、会社の利益、会社の売上です。金銭を動かす時には、役員及び理事全員の会議で討議し、決定し、記録します。

この研究所は会員の皆さんの結びつきを図る場所です。人と人との接触が新しい考えを生み出し、あなたの会社の発展につながると思えるからです。

この研究所は理化学研究所の主任研究員体制に見られる「楽園」のような研究所を目指します。

人は何も持たずにあの世に旅立つ。誰もが沢山お金を作って、全部使ってから旅立つべきである。使い方に人間の能力が出る。全部使ってから旅立つべきである。孫子の代にどう発展しているかを考えよう。代表取締役をやった年輩者は、何かの仕事をしなさい、何かを考えなさい、それが貴君を長生きさせ幸せにします。むろん、いくらでも遊びに行きたまえ、君はすでに十分働いてきた。



分社経営研究所の使命

この研究所は分社グループ各社の羅針盤です。我々は分社思想を各々の現場で実現するための普及活動、指導、助言を行います。しかし、命令はしません。

この研究所は、分社グループ全員が生き生きと楽しく働けるように環境を整備するための調整、研究、投資機関です。

我々の最終目的は、分社の遺伝子を正しく孫子の世に伝えることです。自由に考え、思う存分働き、遊び、税金を払って社会に還元し、次世代を育て、悔いなく一生を終わる。そういう人間を育てることが我々の使命であると考えます。

代表取締役会 新任役員決定

平成十五年八月二十二日(金)、代表取締役会(代取会)において、酒井オナーより今期から代取会の会長として株式会社大昌電子佐々木社長が任命され、各々就任を承諾いたしました。なお、十月十七日(金)、代取会が開催される前に酒井オナーより指名された七名が理事として選任され、就任いたしました。

今後、代取会は、原案通り、両オナーを中心として理事会で協議の上運営いたします。代取会新任役員は左記の通りです。

代取会 新任役員

会長	酒井 邦恭	(株)分社経営研究所
副会長	酒井 博	(株)分社経営研究所
理事	佐々木 弘人	(株)大昌電子
理事	竹田 誠	インテگران(株)
理事	酒井 陽太	大陽工業(株)
理事	関山 浩一	インテگران(株)
理事	菅山 實	富士精密(株)
理事	森栄 治	大昌電子工業(株)
理事	眼目 澄毅	(株)幸大ハイテック
理事	木村 澄夫	(株)大忠電子
理事	酒井 彌吉郎	TNTホールディングス(株)

代取会会長 新任



代取会会長 就任挨拶
株式会社大昌電子 代表取締役社長 佐々木 弘人

九月に菅会長の後任として、代取会会長を拜命致しました。

新しく発足しましたグループ本部(株)分社経営研究所の業務担当をインテگران(株)竹田会長と共に代取会を代表して職務に取り組みます。

下部組織「代取会」は、両オナーを中心として理事会で協議の上運営いたします。

酒井、関山両オナーの経営指針に基づく方針・施策が各社に迅速に伝わるよう進めたいと参ります。理事各位のご協力・ご支援をいただき、各社の事業に「分社精神」「分社理念」を築く礎となる貢献が出来れば幸いと存じます。

分社グループ各社が独自の経営目標と責任をもつて考動し、夢ある仕事が出来、また厳しい市場の競争に勝ち抜ける会社になれるよう、全力でお役に立ちたいと考えます。



編集後記
次回予告
今回、分社経営研究所及び代取会の広報として会報を作成することになりました。初めての試みなので、至らない点も多かつたと思いますが、いかがだったでしょうか。

これから代取会開催に合わせて定期的に発行しますので、ご意見・ご感想を心よりお待ち申し上げます。さて、次号からは、分社グループ各社の経営方針を中心に掲載させていただきます。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

【編集担当者】
株式会社大昌電子 管理本部 / 小飯田寿子